

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2023年7月31日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)  
滋賀県草津市西矢倉一丁目3番11号

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)  
株式会社T&K TOKA 滋賀事業所  
代表取締役社長 高見沢昭裕

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→第25条第4項  
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社T&K TOKA 代表取締役社長 高見沢昭裕
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	埼玉県入間郡三芳町283番地1

1 事業者の概要

事業所の名称	株式会社T&K TOKA 滋賀事業所					
事業所の所在地	滋賀県草津市西矢倉一丁目3番11号					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	6	4	5	※産業分類・細分類名称を記載 印刷インキ製造業
事業の概要	UVインキ・機能性樹脂の製造					
従業員の数	73	人	作業時間	17	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	4	台	熱源設備	24	台
	コンプレッサ	2	台	空気調和設備	8	台
				照明設備	1400	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2022	年度	報告対象年度	2022	年度
	終了年度	2024	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

1. 資源・エネルギーを有効利用し、温室効果ガスの削減を図ります。
2. 環境負荷物質を管理し、環境負荷低減と原料から廃棄に至る製品のライフサイクルを通じて、環境に配慮した製品の開発に努めます。
3. 廃棄物の減量化・再資源化を推進します。
4. グリーン購入(環境対応製品、環境対応企業からの優先購入)を推進します。
5. 継続的な環境改善及び汚染の予防に努めます。
6. 環境関連の法律・規制・協定等の遵守はもとより、必要な自主管理基準(顧客からの要求事項を含む)を定め、環境保全活動を推進します。
7. 全従業員の参加により、積極的に環境保全活動に取り組めます。

2 取組の推進体制

別添のとおり

3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・建屋新設時、動力用モーターには、トップランナーを採用
- ・蒸気ボイラーのドレン回収を行い、ボイラー給水に利用し都市ガス使用量の削減
- ・コンプレッサーの台数制御、インバータ制御の導入
- ・照明器具(トイレ、階段)を人感センサーにより無人時の消灯化
- ・休憩時間、未使用場所の照明を消灯(工場)
- ・設備機器の運転時間のコントロール
- ボイラーの運転時間の短縮、モーターバルブの制御による不要時の送気ロス削減により都市ガス使用量を抑える
- チラーユニットの冷却温度の適正化
- 空調温度の制限
- ・社用車のハイブリット化

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	給排気ファンのインバーター化	2022年度	2023年3月実施
2	運用改善	エアリー漏れ、蒸気漏れの早期発見対処によるロス削減	継続実施	継続実施
3	運用改善	温室効果ガス原単位の把握・削減	継続実施	継続実施
4	運用改善	各種メーターの設置によるエネルギーの把握	継続実施	継続実施
5				

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>目標の設定 2021年度炭酸ガス排出量[t-CO<sub>2</sub>]/2021年度生産量実績[t] =2021年度排出原単位[t-CO<sub>2</sub>]/[t]</p> <p>2895.676[t-CO<sub>2</sub>]/8608.97[t] =0.3364[t-CO<sub>2</sub>]/[t] とする</p> <p>サプライチェーン排出量の考え方Scope1・2を踏まえ2021年度を基準とし、前年比1%削減を目標とする 電気の炭酸ガス排出係数は基準年度の係数に固定して算定する 生産量実績については省エネ法で使用する換算生産量実績を使用して算定する</p>	<p>2022年度炭酸ガス排出原単位 2902.485[t-CO<sub>2</sub>] /7959.522[t] =0.3647[t-CO<sub>2</sub>]/[t]</p> <p>生産量が大きく減少したが生産活動に必要な固定エネルギーが削減出来ず原単位が悪化した</p> <p>生産活動に使用する固定エネルギーの削減に務める</p> <p>2023年度炭酸ガス排出原単位は 0.3611[t-CO<sub>2</sub>]/[t] を目標とする</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
原油換算エネルギー使用量	kL	1,783	1,762			
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	2,476	2,215			
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	2,476	2,215			
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0			
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>					
HFCs	t-CO <sub>2</sub>					
PFCs	t-CO <sub>2</sub>					
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
エネルギー等原単位の推移		0.3364	0.3647			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	太陽光発電設備の導入検討
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh					
上記のうち自家消費量	kWh					

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
環境対応製品(省電力対応高感度UVインキ)の製造、販売、普及活動	継続実施

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
省電力対応高感度UVインキは、一般的なUVインキと比較し、UV印刷の工程で使用する消費電力が50%以下に抑えられるため、省電力対応高感度UVインキをより多く市場に普及させることが間接的に脱炭素化に貢献できると考え、目標設定しました。

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価

目標の進捗に対する自己評価
環境対応製品(省電力対応高感度UVインキ)の製造、販売、普及活動については社内目標達成という結果であった。 引き続き上記目標を設定し、目標達成に向けて取り組む。

7 その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに資する取組

## (1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告					
			( )年	( )年	( )年	( )年	( )年	
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>	1,729	1,111					
【調整後排出係数】	kg- CO <sub>2</sub> /kWh	0.351	0.000					
特記事項								

## (2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告					
			( )年	( )年	( )年	( )年	( )年	
グリーン証書の購 入	t-CO <sub>2</sub>							
クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>							
特記事項								

## (3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

## (4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告				
				( )年	( )年	( )年	( )年	( )年
	保有車輛の数	台						
	上記のうち 次世代自動車の数	台						
特記事項								

(5) その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	取組内用 ①混合試薬及びその瓶を全量リサイクル化 ②滋賀事業所から排出される金属くずを全量リサイクル	継続実施	継続実施
2	その他	カーボンニュートラルな都市ガスの購入	継続実施	継続実施
3	TCFD	再生可能エネルギー由来の電力購入	2022年 4月～	継続実施
4	環境マネジ メントシステム (EMS)	ISO14001規格に基づく脱炭素化に向けた各種取組	2019年 4月～	継続実施
5	カーボンフ ットプリント	原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイ クル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量を CO <sub>2</sub> に換算して環境負荷を定量的に算定する。	2022年 4月～	継続実施